

自己評価・学校関係者評価書

静岡田町幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

- 健康で明るい子
- 自主性のある子
- 情操豊かな子

2. 本年度の重点目標(学校評価の具体的な課題)

子ども一人ひとりのよさと可能性を伸ばす教育——A

- 一人ひとりの良さを引き出せるように、自由遊びなどで子ども達が「やりたい!」と言ったことができるよう環境設定、声掛けなどを工夫した。得意なことで自信がつくように、みんなの前で褒めるなどした。
- 子ども達とコミュニケーションをとりながら、小さな変化に気付けるよう目を配ったり、メモなどの記録をとるようにしたりしている。
- 積極的な子だけでなく、消極的な子も得意なことを活かして活躍できる場を作るなど、一人ひとりの良いところ、得意なことを伸ばせるよう意識して保育を行っている。
- 一人ひとりの苦手な事、できない事ばかりに目を向けず、日頃から良い所や成長を感じたことを意識して見ていくようにしている。
- 保育の経験を増やし、毎日振り返って反省をしながら、色々な教師の保育を見て工夫し、子どもの良さがさらに伸びるようにしている。
- 子ども達とたくさん話をするようにしている。
- 子ども一人ひとりの良さに気付けるよう、一人ひとりにたくさん関わり、それぞれの成長を共に喜べるよう、小さな気付きを見逃さないよう心がけている。
- 子ども一人ひとりの良いところを見つけられるよう、まずは子ども自身を丸ごと受け止めている。
- 元気に明るく楽しく幼稚園に通えるにはどうしたらよいかをいつも考えている。
- 見た目の成長だけでなく心の成長にもたくさん気付けるように、また、明確化できるよう心がけている。
- 子どもの弱点を長所としてみていけるよう、他の先生とも協力しながら共有している。
- 一人ひとりにスキンシップを含めたコミュニケーションを多くとるよう意識している。
- 怒るよりも褒める言葉を多く使い、自信を持って楽しい園生活が送れるようにしている。
- 個人記録を書くことで、一人ひとりの良い所や伸ばしたい点などを改めて考えることができる。
- 直していきたいところを言葉にするのではなく、良いところを言葉に出し子ども達に伝えるように心がけてきた。
- 良いところをたくさん見つけ、たくさん褒めるようにしている。
- * 個性を認めていけるよう、教師自身が否定せず積極的に肯定できるようにしていきたい。
- * 6月頃までは、毎日全体に活動を促すだけで精一杯で、一人ひとりを丁寧に見ていくことができていなかった。努力しているが、本当に伸ばせているのか、もっと伸ばしてあげることができたのではないかと不安な部分もある。
- * 日々の保育では気になる点に目が行ってしまうことが多くなるので連絡ノートや個人記録など通して振り返りをしていきたい。
- * 子どもと関わる中で、個々の良さを見つけたり、その良さをまわりにも知らせたりしているが、一面だけしか見られず、把握できていないことが多く、生活や活動に生かせていないので改善していきたい。

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価	
			評価	理由
I.保育の計画性	B	・子どもに無理のない計画、遊びが中心となる計画を立てるよう意識している。 ・学年で月案の計画を立てる時などに子どもの様子やクラスの姿などを話したり相談したりしながらクラスの目標を立てている。 ・クラスの活動では、子ども主体、子どもにとって楽しい事を計画しながら製作や遊びを行うことが多かった。 ・子ども一人ひとりにあった援助や助言ができるよう個人記録にも目を向け、努力している。 ・年間の教育課程を元に月案の作成をし、そこから子どもの姿に合わせた日	A	・園全体、各学年で連携し計画を立て、確実な教育課程の実施が行われている。また、同時に個々の園児の特性に合わせ、子ども自身が主体的に計画を立て、製作や遊びができるようにする柔軟な対応も行われている。 ・園児が楽しく伸び伸びと活動できる計画に対し、前向きな取り組みを

	<p>案を立てるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繋がりのある保育を心がけ、先々の行事に向けて話し合いや計画を立てている。 ・指導計画は学年の先生と相談し、今の子ども様子を考えながら立てている。 ・良かった点、改善点を出し、子どもにとって良い保育ができるように考えている。 ・自分の中で少し難しい事や、やった事がない事に挑戦することがある。その時はいつも以上にしっかりと計画して、場をイメージしながらいろいろな対応を事前に考えることができた。また、どうしたらいいかほかの教師に相談することもできた。 * 行事の反省はしているが、日々の保育の反省ができていないのでできるようにしていきたい。 * 室内遊びがいつも同じになってしまうので、環境構成があまりできていないと感じている。子ども達の遊びに合わせた環境構成ができるよう、自分自身も余裕を持って行えるようにしていきたい。 * 概ねできているが、行事が中心になってしまう時期は、環境構成等マンネリ化してしまう。 * 繋がりのある保育ができていないと感じる。 * 幼児の姿や環境の構成、教師の関わりなど具体的に考えていくことはできるが、実際にすぐ対応できなかったり、園の環境、ルールを考慮していなかったり反省点が多い。 * 子ども達が楽しい毎日を送れるよう、環境構成を考えているが、計画性を持っていないとなかなか実現できないこともある。 	<p>感じます。状況によって計画変更はあってしかるべき。臨機応変に対処すれば良いのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間行事、毎月の予定の計画がきちんとされている。コロナが5類となり、行事も少しずつ復活していると感じる。季節感のあるイベント、作品作り、歌、絵本などを通して子ども達も季節感や風習を学ぶ事ができる。 ・コロナが5類になり、先生方が対策を意識しながら行事が復活してよかったと思う。予定の告知が2か月先まで出ていることで保護者も準備や計画を把握しやすく、いいと思う。
<p>Ⅱ.保育の在り方、 幼児への対応</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿のメモをとったり、写真を撮って見返したりしながら、環境構成を考えることができた。 ・学年で仕事をする際、役割分担をしながら協力し合えるようにした。 ・その子に合わせた関わり方や伝え方、援助を常に意識している。 ・ひとりひとりに愛情を持って接している。 ・子どもたちの毎日の視診に注意している。 ・教師同士の連携からいろいろな角度で子どもたちを見ることができて有難い。 ・園内外で、怪我などに結びつかないように安全面に考慮し、除去したり清掃したり確認に努めている。 ・子どものみよりは先入観や好みから考えないようにしている。 * 学年間での連携だけでなく、職員全体の協力体制がスムーズにいくよう整えていきたい。 * 毎年行っている行事だからと話し合いをしないで行うことがあったので、教師間の連携を大切にしていきたい。 * すべての園児を把握することができず、トラブルが起きてしまう事があったので、気をつけてみていくようにしたい。 * 手洗い、うがいなど毎日の繰り返しは子どもに任せてしまう事がある。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園の環境設定により、子ども自ら「〇〇したい」という動機付けを行っていくスタンスはとても素晴らしいと感じる。 ・園児に対する気配り、目配りを十分しているなと思います。また、安全に対する配慮も良好と考えます。手洗い、うがいの習慣は幼稚園も家庭でも励行する様周知徹底することが大事ではないかと。 ・担任だけでなくどの先生も子どもの名前を呼んで接し、あたたかく見守っていると感じている。新しい遊具や玩具し、階段の工事など施設面においても子どものことを考え改善している。 ・園児一人ひとりに寄り添い、個性に応じた声掛けや援助を行っていると思う。どの園児も幼稚園生活を楽しんでいる様子を感じる。

<p>Ⅲ.教師としての資 質や能力・良識・適正</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家としての良識のある行動をとることはもちろんだが、その前に一人間としての行動も大事にしたいと思う。 ・ 組織の一員、園外に出れば、一窓口だと思うので、言動には気をつけるようにしている。 ・ 子ども達をかわいいと思い、保育を楽しんで行っている。 ・ 子ども達が日々成長する姿に喜びを感じる。 ・ 子どもの成長を他の先生とも共感でき、うれしく思う。 ・ 全体に関わる仕事は人任せにならないよう周りを意識し、必要な仕事を考え、気付けるよう努めている。 ・ 幼稚園教諭として知識や技能を身につけるよう研修(園内研修・園外研修)に参加し、学ぶ努力をする。 ・ 田町幼稚園の一員として身なりや言動に気を付け、園児、職員、保護者、周りの方々に良識をもつ。 ・ 研修に行くことで、自分の保育を見直すきっかけとなる。保育の専門家として勉強し続けることは大切であり、必要な事であると改めて感じた。 *分からないことは質問し、共通理解のもと動けるようにしたい。 *行事で任された仕事はもっと責任感を持って取り組みたい。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園の先生方が、いつも明るく、気持ちの良い挨拶や対応をしてくださり、大変感謝している。また、子ども一人ひとりにやさしく寄り添い、子どもの自主性を支援する対応が多くみられる。更に、怪我等の危険が予測される場合には、子どもに分かりやすく的確に指示を出すこともできている。 ・ 園児と向き合う先生たちのやさしさ、まじめに取り組んでいる姿勢に感謝している。園内、園外研修にも積極的に取り組んでくれています。地域の人たちとのコミュニケーションをはかり、人間曲を大いに発揮してほしい。 ・ 子ども達が先生を大好きな様子からも、素晴らしい先生達だと感じる。優しい、楽しいだけでなく、ルールや決まり事を上手に教えているのでありがたい。朝早くから長い時間の仕事、土曜保育や発表会の準備などとても忙しく、子どもを預かる責任感もあり大変だと思うので先生たちの負担が大きくなるはず楽しく元気に働けることを願う。 ・ 先生方が皆、子ども達の良い所を褒めて伸ばす方針の軸がぶれていない。いつも誠意と熱意をもって取り組む姿に安心できる。
<p>Ⅳ.保護者への対応</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題があった際は職員全員で解決しようとしている。 ・ 昨年と比べて行事も多く保護者はもちろんのこと、祖父母等を招いての参観もできたのでよかった。 ・ 困ったことや保育に対して行き詰まりを感じた際は必ず上司に相談し迅速な対応を心がけている。 ・ ブログの更新頻度を増やしたことで、こまめにクラスの様子を発信できている。 ・ 意見や相談事は自分1人の考えをすぐに返さず、主任や園長に相談するようにしている。 ・ 園内は報告、連絡、相談で自分勝手なことはしない。 *連絡ノートでは気持ちに余裕がなく十分に書けていない時がある。 *バス通園の保護者とコミュニケーションをとる機会が少ないので、積極的に連絡ノートで伝えられるようにしたい。 *支援を必要とする子の保護者との連携が難しい。 *言葉の言い回し、伝え方等に気を付けているが、若者言葉や丁寧さを欠く時があるので先輩に確認、相談することを意識していきたい。 *子どもの様子、教師の思い、時には協力やお願い事など、どの保護者にも同じようにたくさん伝え、良好な関係が築けるようにしたが、なかなか伝わらない方もおり、難しさを感じる。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困った時は個人で考えこまず、何事も報連相。中には、自己主張の強い保護者も散見されますが、コミュニケーションを一人での対応は絶対に避けることです。 ・ お迎えの時に先生が保護者の顔を覚えており、すぐに子どもを呼んでいるのがすごいと思う。基本的に門外で見送るので先生と会うことが少ないが、毎月のノートや会えた時に園での様子を教えてくれるのでコミュニケーションをとることができた。全体的にはブログに載せてくれているので、そちらを見ると良いと思う。先生たちが無理することなくお手伝い隊など保護者に声をかけてもよいと思う。 ・ 仕事を持つ母親が増え、親の働き方が多様化している中、先生方も一人ひとりの子の生活環境の把握は難しいと思う。今まで培った様々なツールで親しみやすくコミュニケーションをとる様よくやってくれている。

<p>V.地域の自然や 社会との関わり</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類に下げられたので、地域の方と触れ合うことができた。 ・コロナ禍が明け、例年より安倍川を利用でき、園外へ目を向けられるようになった。 ・他の学校に行く機会があり、とても良い経験ができた。 ・今年度は近隣学校との関わりが増えた事により小学校入学への期待が高まったのでありがたい。 ・田町ふれあいまつりでたくさんの地域の方との関わりを楽しむことができた。 ・小学校の子ども達と交流はできなかったが、先生方や用務員さんと子どもが触れ合えたのでよかった。 ・園外へ出ると地域の皆さんの温かいまなざしを感じありがたく思う。 ・年長児から田町小のことを聞いて田町の森に行った際に自然を感じながら小学校のことを知ることができた。 ・小学校との連携に関心を持ち、公開授業で学べる事を大切にしていきたい。 *自然に触れたいが、思うように説明や触れ合いができず後回しにしたり本を見て終わってしまったりしているのので、子どもと共に社会性や知識をつけられるよう工夫したい。 *小学校との連携に関心はあるが、行動に繋がっていない。 *未就園の会の担当だが、貢献しきれていないためもっと意識したい。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児との交流がはかれる様な地域行事で園児たちと触れ合う機会をつくれればと考えている。小学校との連携はとても良い事と思っている。 ・小中高と近くにあり安倍川の自然にも触れられる地域の良さをこれからもっと活用できたら良いと思う。小中高との交流は子ども達もとても刺激になり良いと思う。 ・地域の行事が開催されるようになり、ふれあいが増えて何よりだと思ふ。園児の参加は地域を活気づけてくれる。自然にもたくさんふれあってほしい。
<p>VI.研修と研究</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修会に参加することは自分を向上させるために大切だと感じている。 ・導入から活動の流れが伴ってできるように特に意識して計画をし、イメージが付きやすいように考えて行うようにしている。 ・分からないことだらけでメモを取ることで必死だったが、行事や活動が終わった後には達成感を感じた。 ・夏の研修を受けたことで、自分の保育だけでなく園全体をよくするためにはどうしたらよいかも考えるようになった。 ・係の先生たちが予定通り話し合えるように計画、進行してくれるのでいつも充実していたと感じる。 ・研修で学んだことは日頃の保育で生かせるようにしている。 ・支援の仕方や改善点などは教師同士で考えを共有していきたい。 *予定していた絵本の紹介や手遊びの紹介ができなかったのが残念だった。 *発案から実行までは計画的に伝えたが、忙しくなると後回しになってしまう。 	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教員にとって、幼児教育で大切にしている面や研修を積み重ねている内容等を教えていただくことは、とても有意義であると感じる。園に負担をかけない程度に研修交流があると嬉しい。 ・時間があれば外部の研修は積極的に参加した方が良い刺激になる。 ・研修への積極的な参加、学びをありがたいと感じる。研修に参加できなかった先生達にも共有し、これからの保育に生かしてほしい。 ・歌やダンスも流行を取り入れ披露してくれている。様々な情報を元に新しいことにチャレンジする姿勢をこれからも続けてほしい。

2. 本年度の重点目標の総合的な評価結果

コロナウイルスが5類となり、それ以前の生活に戻りつつある中で、いろいろな経験ができるよう園行事も増やしていった。その結果、子ども達の笑顔がたくさん見られたり遊びが活発になって友達との関わりが増えたり、子ども達の成長をより感じる事が多くあった。また、保護者以外の方、小中高生など外部の方との触れ合いから一人ひとりの良さや頑張りを見出す機会ともなった。そして、これらの方々から褒めてもらうことで自信につながっていき、改めていろいろな体験の大切さを感じる事ができた。

3. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
・ 教育内容について ・ 支援の必要な子への対応について	・ 本園の教育のあり方や教育内容について、教師間で共通理解しながら考察したり再編成したりしていく。 ・ いろいろな体験ができるよう計画をし、一人ひとりの良さが発揮できるよう質の高い教育を目指していく。 ・ その子に合った支援ができるよう園全体で取り組み考えていく。 ・ 専門機関との連携を図ったり、研修に参加したりして専門知識が身につくよう努力をする。 ・ 保護者への対応は慎重に丁寧に行い、できるだけ一人では対応しない。

4. 学校関係者評価委員会からのコメント

・ イベントが増えたり復活したりして子ども達の笑顔がたくさん見れるようになり良かった。 ・ 幼児期は戸外で元気よく遊んでほしい。 ・ 先生達の頑張りは、外部からも聞こえてきていて嬉しく思う。 ・ 健康に気を付けて頑張ってもらいたい。
